

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 細谷教室		
○保護者評価実施期間	2025年10月21日	~	2025年11月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年10月21日	~	2025年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月29日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	課題や遊びの内容等ここに合わせて柔軟に対応し、提供することができる	事業所の職員間で情報共有し、内容を考えていくだけでなく必要に応じて学校とも連携して様子を確認しながら支援内容を精査している	自由遊び等子どもたちが自発的に遊んでいる時に指導員も参加し、そこからより発展させた遊びを提案するなどより支援が充実し、活動に関心、幅を持たせていくことが出来るようになる
2	職員の連携が良い	支援以外の時間でもコミュニケーションを取っていき、話しやすい相談しやすい環境を作っている。また子どもの良い点を見つけ、それを職員全体に共有することで次の支援につなげていくことができている	申し送り以外に気軽に子どもについて話が出来る時間を確保していき、報告だけでなく疑問点や悩みなども共有しながら支援の方向性を見つけていくようにする
3	子どもたちがどの職員とも関わりやすい環境を作り、色々な人と関わりながら活動に参加することが出来る	特定の子ばかりに関わることの無いように職員も意識して、子どもたちと接するように心がけ、外活動の小グループも担当をローテンションしてあたっている	活動ごとに職員一人一人が目的意識をもって子どもに関わることが出来るよう一人一人の支援内容を定期的に全体で確認していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外活動において行き先や遊び方がパターン化しがちである	移動範囲の時間的制限もあり、また利用者の楽しめる遊び等を考えた時に同じような洗濯をしてしまうことが多い	事前に下見を行うなどし、出先のバリエーションを増やしておく。また好きな遊びだけでなく新しい遊びを提供していくことを考えていく
2	室内の使い方において有効活用できていないスペースがある	どんなことに使えるか何をしていくかを話し合いでまとめられていない	使い方のパターンを色々と決めていく曜日や時間によって意識的に使っていくようにしていく
3			